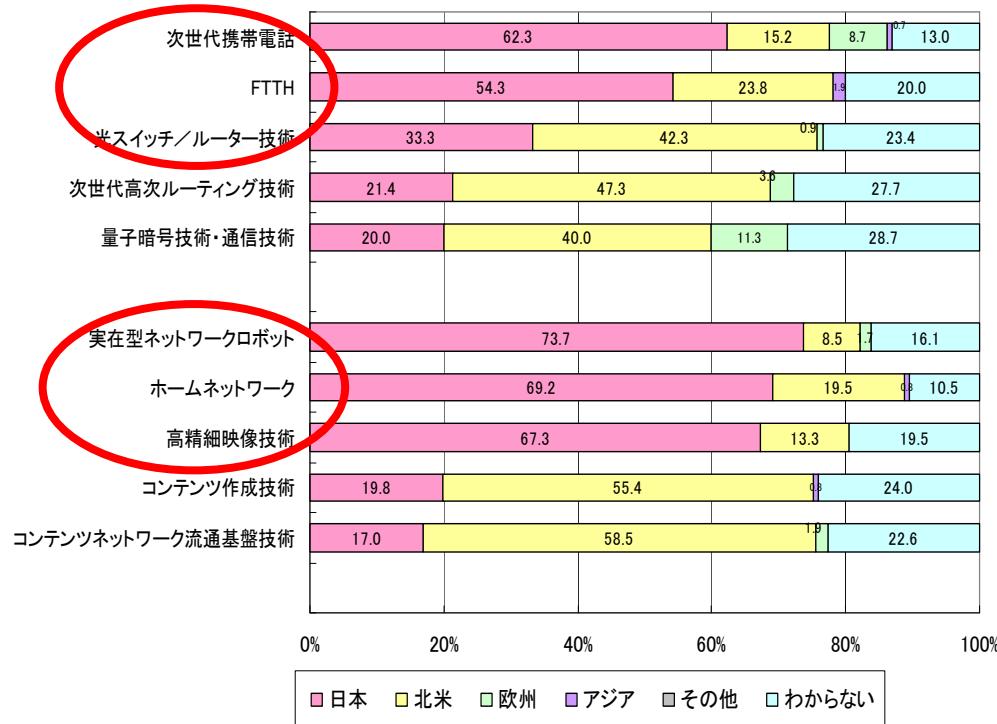


ICTにおける科学技術の位置づけ

日本のICT技術の強み・弱み

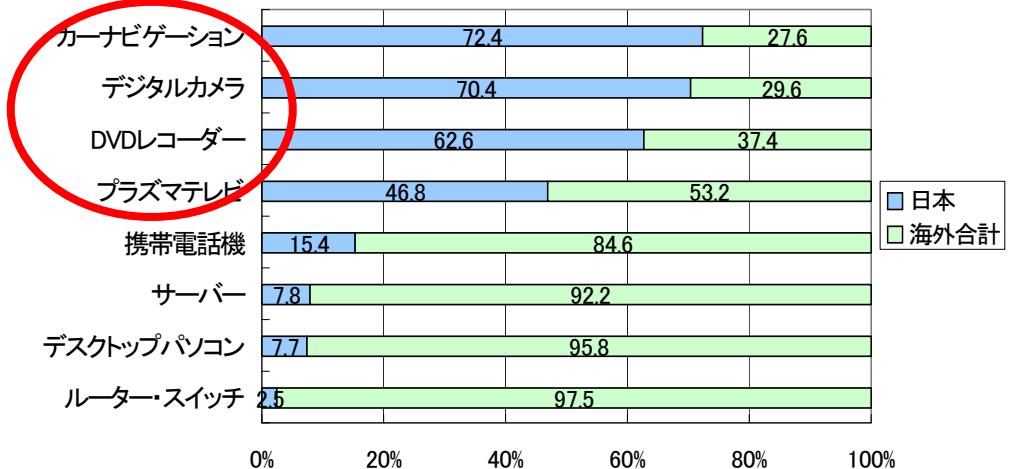
- 次世代携帯電話、光通信、情報家電等については、我が国の技術・製品に強み。
- 今後、国際競争力を強化するに当たっては、日本の強みと弱みの再認識が必要

情報通信技術の優位性についての専門家評価

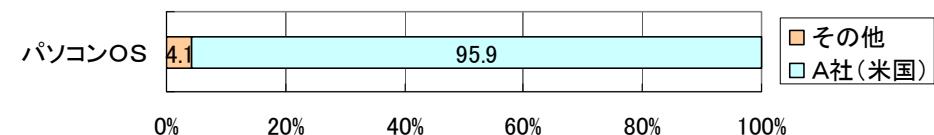


(出典) 「ユビキタス社会の動向に関する調査」

日本企業のシェア

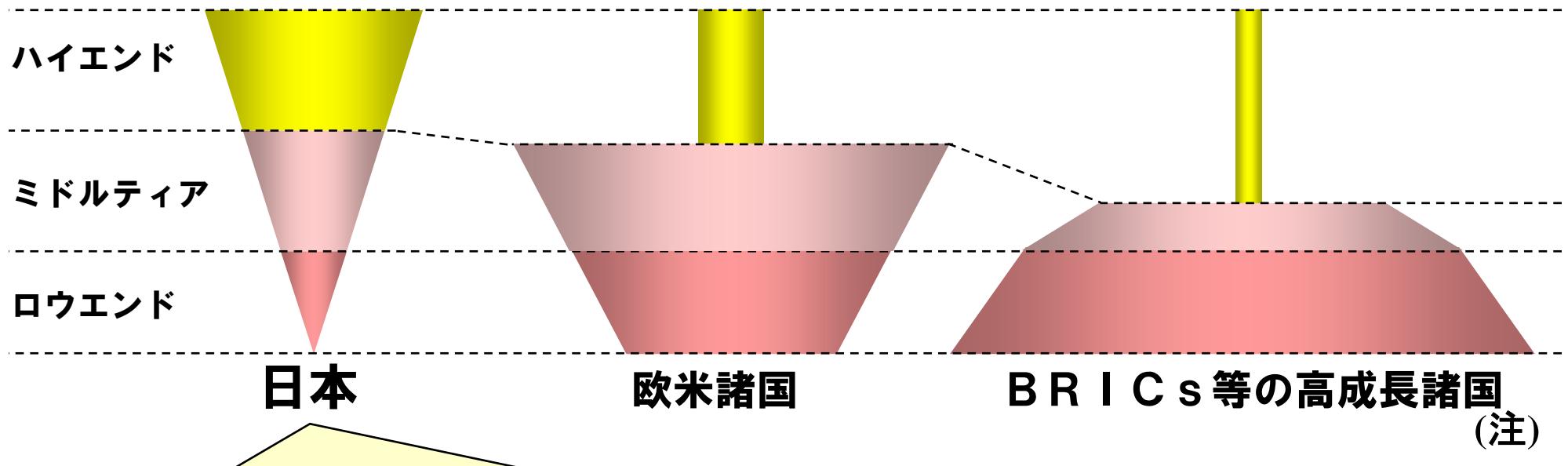


パソコンOSの市場シェア



(出典) 平成18年版「情報通信白書」等

世界における地域毎のニーズを踏まえた国際戦略の必要性



- ブロードバンドの普及
- ユビキタスネットワーク化の進展
- ほどほどに大きい国内市場
- 洗練された厳しい消費者

(注)人口数千万から1億人程度以上で、高い経済成長を達成しようとしている諸国

ICT国際競争力の強化に向けた取組

具体的施策

【ICT国際競争力強化プログラム2009(平成21年6月17日)】

(1) 政府間対話の推進

- ・国際展開の対象となる国との間で政府間対話を推進するとともに、企業経営者を交えた交流を促進

(2) モデルプロジェクト等を通じた国際展開支援

- ・「ユビキタス・アライアンス・プロジェクト(2009年度～)」の推進(平成21年度当初予算:4億円、補正予算:20億円、平成22年度要求額14億円)

(3) 戦略的研究開発と標準化・知財戦略の総合的推進

- ・外国企業等と激しい競争状態にある重要技術について、「国際展開加速技術開発プログラム(仮称)」を推進

(4) 国際展開を促進するための環境整備

- ・サービスの仕様決定前の相手国への働きかけ(スペックイン活動)、システム販売だけでなく、運用や保守まで一括して請け負う活動(フルターンキー提案)等への支援

(5) 地域別戦略の強化

- ・ターゲット地域を選定し、各国・地域ごとに、産学官連携ミッションなどを含め各種取組を総合的・戦略的に推進

ターゲット地域

中国、東南アジア(タイ、ベトナム、インドネシア等)、ロシア、インド、中南米(ブラジル等)、中東(UAE、カタール等)

重点三分野

地上デジタル放送

- 地デジ日本方式の売り込みのため、デモンストレーションの実施、幹部訪問、先方要人の招聘、首脳レベルでの働きかけ等を実施。

ワイヤレス

- 中国等において官民一体での相手国政府との意見交換、セミナーの開催等を実施。

次世代IPネットワーク

- タイ等において情報通信基盤プロジェクトを推進。